

オオタバコガの発生が多くなると予測されます

若齢幼虫のうちに防除を徹底して下さい！

[発令の内容]

作物名 : 大豆, 野菜類, 花き類

病害虫名 : オオタバコガ

発生量 : 多い

発生地域 : 県下全域

[発令の根拠]

- ① 8月1日から25日までのフェロモントラップへの誘殺数は、水戸市、土浦市、龍ヶ崎市(図)、筑西市、古河市、坂東市で平年より多い。
- ② 8月下旬現在、大豆におけるオオタバコガの寄生虫数は平年よりやや多く(本年値3.7頭、過去4年平均値2.3頭(25株あたり))、発生地点率は平年並である(本年値69%、過去4年平均値64%)。
- ③ 8月下旬現在、ナス、トマトでの被害を確認している。

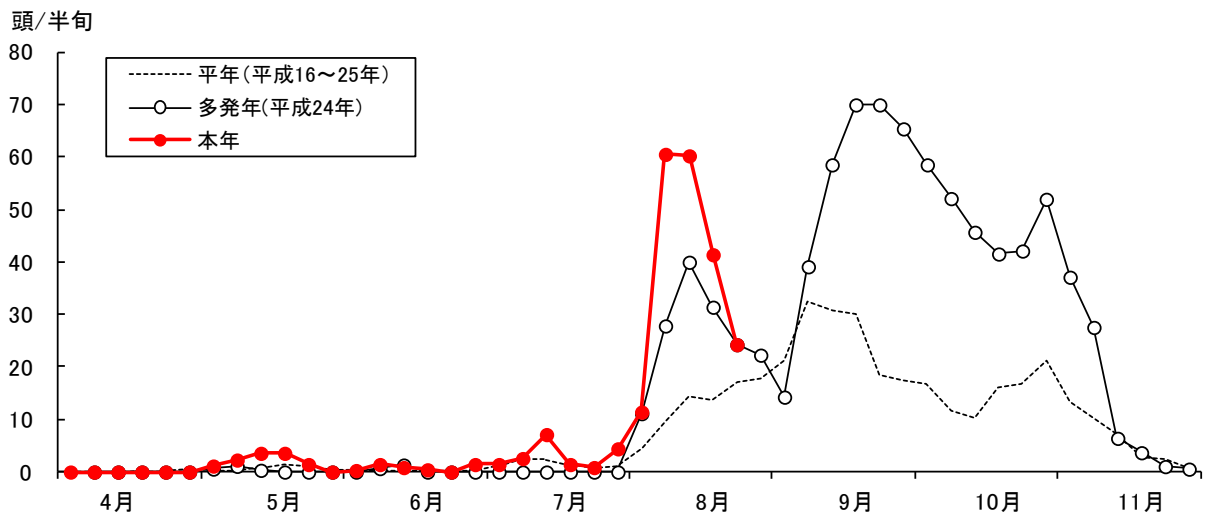


図 フェロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘殺状況(龍ヶ崎市)

[防除対策]

- ① 施設栽培では、ハウスの開口部に防虫ネットを設置し、成虫の侵入防止に努める。
- ② 老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を徹底する(防除薬剤は表を参照)。
- ③ レタスやハクサイ等では、結球内に幼虫が食入するとその後の防除が困難になるため、定植時及び結球始期の防除を徹底する。
- ④ トマト、ピーマン等では収穫終期まで加害が続くので、発生しているハウスでは防除を徹底する。
- ⑤ 薬剤散布は、薬液が葉裏や株元にもよくかかるよう丁寧に散布する。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるために、系統の異なる薬剤を散布する。

表 オオタバコガに登録のある主な農薬（平成 26 年 8 月 27 日現在）

系統名	作物名 薬剤名	大豆	キャベツ	ハクサイ	レタス	非結球レタス	イチゴ	トマト	ミニトマト	ナス	ピーマン	キク
		ジアミド系剤	フェニックス顆粒水和剤		○	○	○	○	○	○	○	○
	プレバソンフロアブル5		○		○	○		○	○	○	○	
ネオニコチノイド系剤	モスピラン粒剤				○	○						
マクロライド系剤	アニキ乳剤		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アフーム乳剤				○	○	○	○	○	○	○	○
	スピノエース顆粒水和剤				○	○		○	○	○	○	○
	ディアナSC		○		○	○		○	○	○		○
IGR剤	アタブロン乳剤							○	○	○	○	
	カスケード乳剤				○			○	○		○	
	ファルコンフロアブル		○		○	○	○			○	○	
	マッチ乳剤				○	○		○	○	○	○	
	ロムダンフロアブル											○
BT剤	エスマルクDF		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	デルフィン顆粒水和剤		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サブリーナフロアブル	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	チューンアップ顆粒水和剤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	アクセルフロアブル		○		○	○						○
	コテツフロアブル		○		○	○		○	○	○	○	○
	トルネードエースDF				○	○	○	○		○	○	
	プレオフロアブル		○	○	○		○	○	○	○		○

※ 薬剤によっては、感受性が低下し、十分な防除効果が得られない場合があるので、散布後の効果を確認する。

農薬の使用にあたっては、農薬のラベルに記載してある適用作物・使用方法・回数など使用基準及び注意事項等を確認のうえ使用して下さい。また、薬剤散布の際は、周辺作物への飛散（ドリフト）に十分注意して下さい。